

公益財団法人 大阪府文化財センター 中期経営計画（令和4年度～令和8年度）

公益財団法人 大阪府文化財センターは、大阪府内を中心とする文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用をおこなっています。

Mission

～ 原点回帰

法人の基幹事業である「埋蔵文化財調査」を確実に遂行するため、調査体制を再構築し、組織の土台を固め、その成果を「文化財資料活用」において積極的に発信し、「博物館管理運営」に活かす。

文化財の調査と活用

未来につなぐ

収支計画

課題 & 戦略

令和6年度にかけて中部調査事務所撤去に関する支出が増加

→高品質確保と調査体制整備により令和7年度に収支均衡を目指す。

埋蔵文化財調査事業

不安定な埋蔵文化財調査事業費
調査人材の不足

発掘調査体制の高齢化や年齢構成の偏り

埋蔵文化財保護行政に不可欠な存在に

市町村事業の積極的な受託
計画的な人材採用による調査組織の再構築
体制整備による調査技術の確実な継承

課題

戦略

文化財を後世に

遺跡の発掘から歴史の解明

大切な文化財を未来に守り伝えるため、調査体制の充実と技術の継承に努めます。

文化財資料活用事業

文化財を身近に

地域の歴史学習への寄与

さまざまな事業を通して、歴史や文化財が身近で大切なものであることを伝えます。

文化財資料活用事業

事業原資の先細り

事業縮小による収益減

文化財の価値をもっと増やそう

連携事業の促進や補助金の活用
地域や年齢のニーズに合わせた柔軟で積極的な事業展開

課題

戦略

博物館管理運営事業

◆ 博物館運営（共通）

- ① 幅広いニーズに対応
- ② 歴史と文化の学び場
- ③ 持続可能な事業構築
- ④ 法人運営とのバランス重視

戦略

★ 日本民家集落博物館

慢性的な資金不足による事業の縮小
将来的な民家保存修理の財源確保

課題

★ 魅力度アップで安定した運営を

入館促進による収益改善
資産運用の見直し

戦略

文化財で心を豊かに

「温故知新」で文化力向上

文化財を通して、先人の知恵と工夫を学び、豊かな生活や文化の発展に貢献します。

★ 歴史館いずみさの

地域に密着した博物館運営

きめ細かなサービスで地域に貢献

日本遺産「日根荘」の活用
わかりやすい展示や体験の実施

課題

戦略

★ 府立博物館

事業費減による事業縮小と入館者減
施設の老朽化に伴う負担増
配員の固定化による組織体制への弊害

課題

★ 博物館や歴史を身近なものに

ネットツールの活用
出張展示や出前講座を多用
指定管理事業の再検討

戦略